

豊川海軍工廠展

豊川海軍工廠に
爆弾投下中の

B29
爆撃機



空襲による

工廠の惨状



20.08.07

会期 / 2016
7月19日(火) → 8月31日(水)

会場 / 豊川市桜ヶ丘ミュージアム
観覧時間 / 午前9時～午後5時
休館日 / 毎週月曜日
主催 ● 豊川市桜ヶ丘ミュージアム

豊川海軍工廠の
守衛長の
制服

展示 7月28日(木) / 8月7日(日)
解説 いずれも午後3時から

入場無料

豊川空襲の最終盤に、
米軍が目標(海軍)の
手前、
一万四千フィート(上佐脇の
大池揚水舎付近)で
投下した五百ポンド爆弾

〔昭和20年8月7日 午前10時38分〕

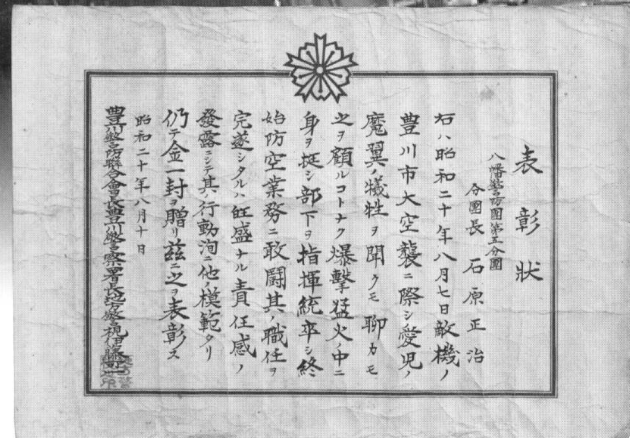
●豊川海軍工廠のあゆみ

年月日(昭和)	事項
11年	日本海軍、仮称「A廠」(後の光海軍工廠)と仮称「第二A廠」(後の豊川海軍工廠)の建設計画を決定
12年 7月 7日	日中戦争が始まる
13年 6月 1日	新設工廠用地に本野ヶ原を選定
14年 3月	仮称「第二A廠」の建設を開始
12月15日	豊川海軍工廠開庁式。初代工廠長は神保勉一少将
15年 4月	豊川海軍工廠工具養成所(仮校舎)開校
12月23日	豊川海軍共済組合病院(後の豊川海軍共済病院)竣工
16年 4月21日	二代目工廠長、相馬六郎少将(後に中将)着任
12月 8日	対米英宣戦布告(太平洋戦争勃発)
15日	新たに光学部を開設
18年 6月 1日	豊川・牛久保・国府の三町と八幡村が合併し、豊川市が誕生
9月 1日	新たに指揮兵器部を開設
11月 1日	三代目工廠長、清水文雄少将(後に中将)着任
19年 4月15日	新たに器材部を開設
8月23日	女子挺身労働令公布・施行
11月23日	米軍機、工廠を上空より撮影。工廠に爆撃を行う際の効果を分析
20年 5月19日	工廠初の被爆。指揮兵器部第一機械工場付近が被弾。30余人の犠牲者がでたという
7月 1日	工廠上空から多数のビラ(伝單)がまかれる
15日	工廠にP51(ムスタング)来襲。銃架工場被弾し負傷者あり
24日	工廠上空から多数の降伏勧告ビラ(伝單)がまかれる
8月 6日	広島に原子爆弾投下される
7日	豊川海軍工廠被爆。米軍B29爆撃機124機などによる爆撃を受け事実上壊滅。死者は2千5百人以上、負傷者は1万人以上とされる
9日	長崎に原子爆弾投下される
15日	戦争終結がラジオ放送で発表される
10月 6日	豊川海軍工廠解散式

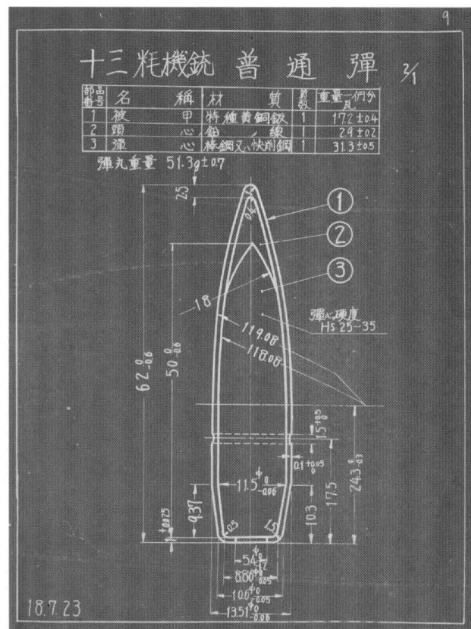
豊川海軍工廠展

本展は豊川市の歴史の中で重要な事象である豊川海軍工廠の歴史や戦争について知っていたらどうと、毎年夏の時期に開催している展覧会です。

豊川海軍工廠は、海軍兵器の生産を目的として、昭和13年に宝飯郡豊川町・牛久保町・八幡村にまたがって建設することが決定され、昭和14年12月15日に開庁しました。機銃やその弾丸、測距儀、双眼鏡、射撃装置などを生産し、機銃の生産に関しては日本最大の規模で、東洋一の兵器工場ともいわれました。工廠の発展は、人口の増加や各町村の結びつきを強めることとなり、豊川市の誕生・発展に大きな影響を与えました。しかし、昭和20年8月7日の米軍B29爆撃機などによる空襲で壊滅的な被害を受け、2,500名以上の人が犠牲となりました。



空襲時の防空業務取組の表彰状



各種弾薬包装填図(部分)

豊川海軍工廠の絵を募集しています

豊川市(文化振興課)では豊川海軍工廠の絵を募集しています。これは戦争経験者が高齢化し、戦争の体験を後の世代へ伝えることが難しくなっている状況の中で、実物資料だけではなく、記憶と経験を視覚的に捉えることができる絵が必要と考えて始めたものです。

皆さまのご協力をお願いいたします。

●募集する絵

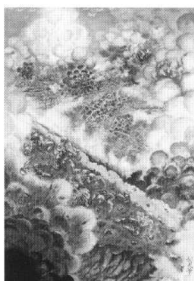
豊川海軍工廠に関連するものであれば、空襲に限らず何でも結構です。絵の種類、技量は問いません。規格は四つ切(54×38cm)程度とします。

●提出期限

期限はありません。

●その他

絵は寄贈していただけるものに限ります。著作権は桜ヶ丘ミュージアムとなります。



豊川海軍工廠被爆絵図



【交通案内】

- 電車 ●JR飯田線「豊川」駅、名鉄豊川線「豊川稲荷」駅下車徒歩約15分
- バス ●豊橋駅東口バスのりばから豊鉄バスで「イオン豊川店」下車徒歩約5分
JR豊川駅前のりばからコミュニティバス千両三上線「上千両集会所」ゆきで、「桜ヶ丘ミュージアム」下車徒歩1分
- 車 ●東名高速「豊川IC」から約10分(駐車場約100台:無料/公園と共用)
※土日は混雑が予想されるため、公共交通機関の利用や乗り合せにご協力ください。

TOYOKAWA CITY SAKURAGAOKA MUSEUM

豊川市桜ヶ丘ミュージアム

〒442-0064 愛知県豊川市桜ヶ丘町79-2
TEL ●(0533)85-3775 / FAX ●(0533)85-3776
http://www.city.toyokawa.lg.jp/shisetsu/bunkakyoiku/sakuragaokamuseum/